

宮城県いじめ防止対策調査委員会第10回特別部会 議事録

令和元年12月18日(水) 17:00~18:40  
宮城県庁(行政庁舎)9階 第一会議室

<特別部会委員>

長谷川 啓三部会長, 奥山 優佳委員, 北島 みどり委員, 神 春美委員,  
内藤 裕子委員, 細川 潔委員

<県教育委員会>

伊藤 俊 高校教育課長

(資料の確認)

<1 開会>

(1) 部会長挨拶

本日も委員の皆様, 関係の先生方にお集まりいただき感謝する。お忙しい中, 遠方から足を運んでいただいている委員もいらっしゃるということで, 厚くお礼を申し上げたい。

今日は第10回特別部会である。1年前の12月22日に第1回の特別部会が開催されて, ほぼ1年が経った。心理学の実験に, 1年経ったかどうか, 年を取ったかどうかというのは, 同じメンバーでは分からないというようなものがある。外から見ると1年, 年を取ったという, こんな話もある。

今回, 第10回特別部会を開催させていただくわけだが, 報告書について, 御遺族の意に沿いながら, できるだけ俊敏な作業を進めていきたいと思っている。

(進行は部会長が行う)

(2) 確認事項

イ 前回までの進行状況の確認

- ・ これまでの追加調査について
- ・ 報告書について

ロ 本日の検討事項について

- ・ 調査結果について
- ・ 報告書について

(長谷川部会長)

前回までの会議では, これまで行ってきた調査をもとに, 本事案の背景要因について, 少し踏み込んだ議論をした。また, 事案が起こった後の県教育委員会の対応についても, 前回, 前々回と議論をした。これから報告書をまとめる段階になるが, その具体的な項目や内容の検討もしたところであった。本委員会がどのような目的で組織されているか, 事実はどうだったか, 学校や教育委員会の対応はどうだったか, また, それに対する評価はどうかといったことを基本に, 今回のようなことが二度と起こらないように, 提言を含めた形で報告書をまとめたいといった話が出された。

本日の会議の検討事項だが, これまで行ってきた調査を踏まえ, さらに議論を深め, 事実関係を明らかにしつつ, 自死との因果関係や教育委員会との対応についても, 引き続き協議して参りたい。また, 報告書についても, 前回の議論を踏まえ, 構成や方向性について協議をしたいと思う。細かい項目については, 議論の過程で適宜修正を加えながら, 整理していくこととする。ま

た、それぞれの項目については、委員の皆様の専門的な知識を生かしながら、部会としての方向性を確認しつつ、作成に当たっていきたいと考えている。

本日の主な検討事項については、以上の通りである。

(会議の公開・非公開の確認)

(長谷川部会長)

それでは、本会議の公開・非公開について確認をしたい。

情報公開条例により、審議会等は公開で行うことが原則となっているが、非公開情報が含まれる場合及び公開する公正かつ円滑な審議に支障が生じる場合には、当該会議の構成員の3分の2以上の多数の決定により一部公開又は非公開とすることができる。

これから2の「審議」以降については、個人情報が含まれることから、非公開が適切と考えているが、委員の皆様いかがか。

(異議なし)

(長谷川部会長)

それでは、これから2「審議」以降は非公開で行うこととする。

では、ここからは、非公開とするため、報道、傍聴の方々は御退出願いたい。御協力をお願いしたい。

なお、会議が終了してから、20分後に、報道機関に対する記者会見をこの場において行う予定である。会見には私が出席するので、他の委員への個別の取材は御遠慮願いたい。また、県教育委員会からも、担当者が同席する予定である。

では、暫時休憩とする。

(報道、傍聴者退室)

(会議の再開) (以下、非公開とする。)

< 2 審議 >

- (1) 調査結果について
- (2) 報告書について
- (3) 今後の会議の進め方について
- (4) その他

< 3 その他 >

< 4 閉会 >